

持続可能な農業生産システムを求めて



農業安全管理学研究室

FSセンターにおいて地域と連携した研究を実施しています。

キーワード:カバークロップ、不耕起栽培、園芸療法、アグロエコロジー、放射能汚染

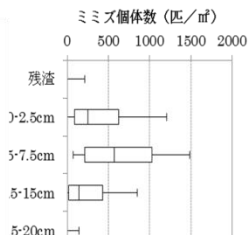
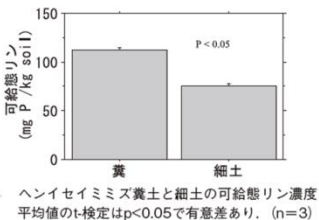
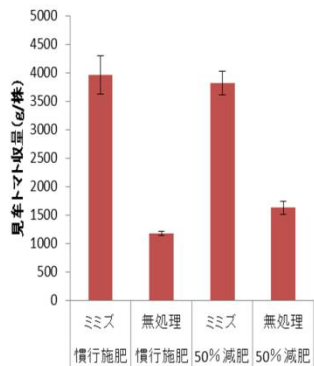
ミズコンポスト利用による新しいバイオ堆肥生産



全ての野菜が洗浄しており放射性セシウム量は不検出

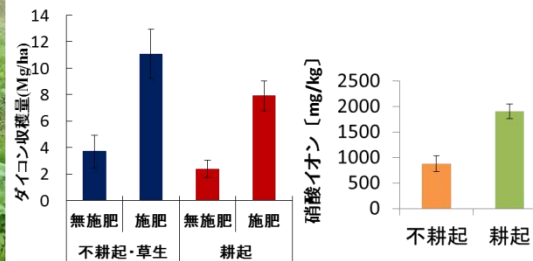


ミズを使って作った堆肥(ミズコンポスト)は植物の生長を促進する効果がある!



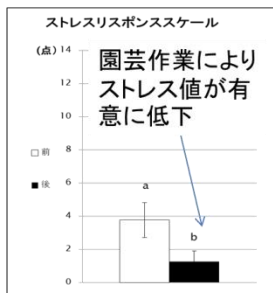
JSTマッチング促進 2013 採択事業

不耕起・草生栽培は、慣行有機農法に比べて **作業時間が半減**
収穫量は同等かやや向上(秋野菜の場合)
低硝酸で品質アップ



生理学的解析システムを活用し農業のもつ福祉的な効果を総合的に科学する!

精神面への効果



木村ら2013

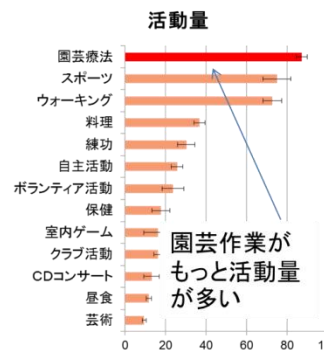
多チャンネルテレメータシステムによる園芸療法および動物介在療法のリアルタイムモニタリング

農業福祉効果のビックデータ解析

園芸療法の前は？



身体面への効果



木村ら2013



生理学的指標をベースにした機能的な園芸療法および動物介在療法プログラムを開発へと発展させる!